

STT072-P07

会場:コンベンションホール

時間: 5月27日17:15-18:45

## InSARにおけるPhase Unwrapping

### Phase Unwrapping in InSAR Processing

飛田 幹男<sup>1\*</sup>, 小林 知勝<sup>1</sup>, 矢来 博司<sup>1</sup>

Mikio Tobita<sup>1\*</sup>, Tomokazu Kobayashi<sup>1</sup>, Hiroshi Yurai<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国土交通省国土地理院

<sup>1</sup>GSI of Japan

合成開口レーダー (SAR) 干渉解析におけるPhase Unwrapping (位相連続化) 処理について報告する。位相連続化処理とは、干渉画像中の各画素が持つ  $[-\pi \sim \pi]$  radianの間に圧縮された位相情報から、連続した位相を復元する処理である。地殻変動量を抽出するために欠かせない処理だが、确实に行うアルゴリズムが未だ確立されていない。本講演では、日本の地球観測衛星「だいち (ALOS)」搭載のPALSARによるSAR干渉画像を例示しつつ、「位相連続化とは何か」、「位相連続化のカギを握るResidueの性質」、「Branch cutアルゴリズムを中心とした位相連続化処理の実際」を示す。

キーワード:干渉SAR,位相, Phase Unwrapping,位相アンラッピング,位相連続化,地殻変動

Keywords: interferogram, InSAR, Phase Unwrapping, ALOS, Crustal Deformation